



平成 20 年 1 月 28 日

各 位

会社名 株式会社メッツ  
代表者名 代表取締役社長 永田 典久  
(コード番号 4744 東証マザーズ)  
問合せ先 業務管理部長 中村 直樹  
(連絡先 03-5771-4186)  
<http://www.metscorp.co.jp/>

「平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況」(参考資料) 及び  
「平成 20 年 3 月期 第 3 四半期販売用不動産保有状況」について

当社は、本日「平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況」を発表いたしましたのでお知らせいたします。概要は下記の通りですが、詳しくは同発表資料をご参照くださいますようお願い申し上げます。また平成 20 年 3 月期第 3 四半期時点における当社保有の販売用不動産の状況についてお知らせいたします。

#### 1. 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (参考資料)

##### ①第 3 四半期の業績について

当第 3 四半期の業績におきましては、売上高は、2,986,155 千円(前年同期比 1,400,655 千円(31.9%)の減少)を計上することができました。営業利益は 1,203,180 千円(前年同期比 698,901 千円(36.7%)の減少)、経常利益は 1,140,373 千円(前年同期比 826,322 千円(42.0%)の減少)、当第 3 四半期純利益に関しましては、前期において繰越欠損金の一掃がなされたため税負担が増加し、677,502 千円(前年同期比 822,887 千円(54.8%)の減少)となりました。

##### ②通期業績予想について

当社の主要事業であるセキュリティリアルエステート事業は、物件の引渡時に売上が計上されるため、物件の引渡時期により、業績が偏重いたします。

平成 20 年 3 月期の業績予想については、セキュリティリアルエステート事業において当社保有の販売用不動産に対する商談は引き続き活発であり、第 4 四半期での物件売却も当社独自ルートを活用しすでに進捗しており、賃貸売上等も堅調、当事業の売上・利益共に概ね計画通り推移する見通しです。また、中長期的観点から継続的な成長をめざして、平成 19 年 6 月には大型優良物件の取得に成功しており、引き続き今後も来期以降における利益の源泉確保として、株式の希薄化を招くような安易な資金調達手法ではなく、当社の強固な財務基盤を十分に生かした資金調達を実行し、販売用不動産の増大を推進してまいります。

セキュリティ事業に関しましては、不安定な社会情勢に伴い、防犯システムに対する需要も高まっており、市場全体が着実に拡大するものと考えられます。当社独自開発のセキュリティシステムの認知度向上、機能・価格両面での優位性、当社システムと連動できる他社製の周辺機器・防犯システム等、新たな商材も積極的に取り扱い、顧客へ提案することでプラスアルファの収益拡大、また福岡近郊での営業強化等により、当社セキュリティシステムの導入件数は伸長する見通しです。

以上により、業績について順調に推移する見通しであり、現時点においては平成 19 年 4 月 2 日付で発表しました予想をすえ置き、通期売上高 5,000 百万円、営業利益 1,810 百万円、経常利益 1,810 百万円、当期純利益は繰越欠損金による法人税等の減少効果が無くなるため 1,000 百万円を見込んでいます。

### ③配当について

当社は株主各位に対する利益還元を経営の重要な課題の一つとして位置づけております。中期的な業績動向を考慮に入れながら、各期の業績に対応して配当額を決定し、配当を安定的に継続していくことを目標としているなかで、今期においても事業が順調に進捗しているため平成19年9月11日に発表いたしました配当予想の通り期末配当は550円(通期1,100円)から変更はございません。

## 2. 販売用不動産保有物件および今期売却済物件一覧 (平成19年12月31日現在)

平成20年3月期第3四半期時点における当社保有の販売用不動産の状況についてお知らせいたします。

### 【販売用不動産保有物件】

所在地		敷地面積		延床面積 (㎡)	建物	現況
		(㎡)	(坪)			
東京都	港区西麻布1丁目	855.20	258.69	—	—	時間貸し駐車場
東京都	港区西麻布1丁目	480.25	145.27	1,061.89	4階建	テナントビル
福岡県	福岡市博多区中洲5丁目	358.31	108.38	2,893.63	地下1階 地上8階建	テナントビル
福岡県	福岡市中央区大名1丁目	272.18	82.33	607.96	4階建	テナントビル
福岡県	福岡市中央区舞鶴1丁目	187.69	56.77	1,061.24	地下1階 地上7階建	テナントビル
福岡県	福岡市中央区大名1丁目	132.72	40.14	358.65	5階建	テナントビル

### 【今期売却済物件】

所在地		敷地面積		延床面積 (㎡)	建物	売却時状況
		(㎡)	(坪)			
東京都	港区六本木7丁目	210.77	63.75	—	—	時間貸し駐車場
東京都	港区西麻布1丁目	201.70	61.01	380.87	地下1階 地上3階建	テナントビル
東京都	港区南青山7丁目	66.11	19.99	176.13	3階建	テナントビル
福岡県	福岡市中央区大名1丁目	109.45	33.10	278.60	4階建	テナントビル

### ①今後の販売用不動産の活用計画について

【東京】現在保有する2物件においては港区西麻布に位置しており、六本木ヒルズ至近の非常に注目度の高い立地条件にあります。当社内最大の敷地面積を誇る物件については昼夜問わず非常に交通量の多い道に面しており、商業施設として優れた立地となっております。

この2物件については今後、当社の保有不動産の売却資金及び手元資金により当社での事業開発を基本に、株主価値の最大化を念頭にいった様々な事業を計画・協議中です。事業計画及びそのスキームにつきましては、決定次第適時開示を予定しております。

【福岡】現在保有する 4 物件全てにおいて福岡市の人気商業地域である博多区、中央区に位置しており、繁華街もしくは交通量の多い道に面した立地条件にあります。物販・飲食を問わずテナントの需要が見込まれる地域であり、優れた立地にある物件となっています。

4 件の物件については順次商談を進めており、この内 2～3 物件については今期中の売却を予定しております。

②過去 3 期における期末販売用不動産残高と今期業績予想の推移について

(単位：千円)

	平成 17 年 3 月期 通期実績 (連結)	平成 18 年 3 月期 通期実績 (連結)	平成 19 年 3 月期 通期実績 (非連結) (※1)	平成 20 年 3 月期 今期予想 (非連結) (※1)
売上高	665,979	1,959,941	4,487,186	5,000,000
経常利益	205,036	396,048	1,806,274	1,810,000
純利益	209,230	407,817	1,392,136	1,000,000
販売用不動産残高	3,979,199	3,608,438	3,417,853	(※2) 11,317,154

※1：平成 18 年 4 月 1 日をもって子会社 株式会社アロンエステートを吸収合併。平成 19 年 3 月期より単体となり非連結での表示となっております。

※2：平成 20 年 3 月期の販売用不動産残高は第 3 四半期 (平成 19 年 12 月 31 日) までの残高となっております。

販売用不動産残高につきましては平成 20 年 3 月期第 3 四半期時点 (平成 19 年 12 月 31 日) におきまして約 113 億円となっており、前期期末時点 (平成 19 年 3 月 31 日) と比較し約 78 億円の増加を示しております。

今期はこれまで当社が取得していた 100 坪以下規模の不動産物件から、将来的にも継続的に強いとされる都心大型不動産物件の取得へ物件ポートフォリオをシフトしております。

第 3 四半期時点において、100 坪以下の小規模商業ビルの売却を進め、一方で大型開発案件物件の取得に成功しており、不動産市況の変化に対応した販売・仕入れを実現しております。

第 4 四半期の見通しとしては、福岡に保有する販売用不動産について順次商談を進めており、保有する 4 物件の内 2～3 物件については今期中の売却を予定、通期業績予想に向け計画通り順調な進捗を見込んでおります。

※注意事項

本リリースで述べました販売用不動産活用計画及び今期業績の推移見通しにつきましては、あくまで計画段階であるため、様々な要因により、変更する可能性があります。

以上